

4th Phase

Fourth Phase Urban Development Plan
of Okada community

Move forward together

Move forward together

第4期 まちづくり計画

令和8年4月～令和13年3月

4th Phase

Fourth Phase Urban Development Plan
of Okada community

Move forward together

岡田コミュニティ
第4期まちづくり計画



岡田コミュニティ

岡田コミュニティ

〒761-2401 香川県丸亀市綾歌町岡田下516-1 TEL:0877-86-3001

<https://main-okada-community.ssl-lolipop.jp/> mail: okada-center@md.pikara.ne.jp

住み続けたいまち おかだ

はじめに

岡田コミュニティは、平成23年に『第1期まちづくり計画』を策定したのち、5年ごとにまちづくり計画を改定して、基本理念である「住み続けたいまち おかだ」に向けた各種事業を実施してきました。これまでの岡田コミュニティの取り組みは、住民の皆様、関係団体の皆様のご協力のおかげで、岡田地区内外からも高い評価を得ています。

このたび、これまでの取り組みを見直して、より住みやすい岡田地区をつくっていくため、第4期まちづくり計画を策定することといたしました。

岡田地区は、少子高齢化と人口減少の時代に入っています。今後も住みやすい岡田地区であり続けるためには、行政と協力を密にした事業を実施するとともに、住民が助け合い、支え合うまちにしていかなければなりません。

第4期まちづくり計画の策定にあたっては、岡田コミュニティ役員、コミュニティ関係団体や有識者、行政職員からなる「おかだ未来会議」を開催し、今後のまちづくりについての在り方について話し合う機会をもちました。

おかだ未来会議の委員の皆様をはじめ、多くの方からいただいたご意見をもとに、令和8年度から5年間の事業計画である第4期まちづくり計画を策定することができました。計画策定に向けて貴重なご意見を多くいただきました関係の皆様にこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

これからも「住み続けたいまち おかだ」を基本理念として、丸亀市と協力しながら第4期まちづくり計画に基づいた事業を実施し、助け合いのまちづくりを進めてまいります。

今後とも皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

岡田コミュニティ
会長 臼杵 實



本編

I コミュニティをとりまく社会情勢 1

II 第3期まちづくり計画の事業評価 5

III これからのまちづくり 13

1 住み続けたいまち おかだ

2 まちづくりの目標

3 部の協力体制

4 計画事業

資料編

岡田地区の概要 24

位置と現状

歴史

数字で見る岡田地区

公共施設

神社・仏閣

古代の遺跡

丸亀市指定遺跡

岡田のため池一覧28

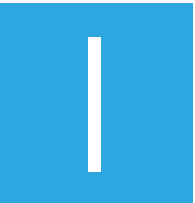
年中行事29

岡田の歴史年表30

岡田コミュニティの組織33

おかだ未来会議（第4期まちづくり計画策定委員会）

委員一覧34



コミュニティを取り巻く
社会情勢

丸亀市全体よりも一歩先に高齢化が進んでいる岡田地区は、丸亀市の縮図です。
わたしたちの力だけでは困難な課題も、これまで以上に丸亀市や岡田地区内外の団体と協力を深めて課題解決につなげていきたいです。



1 コミュニティを取り巻く社会情勢

第3期まちづくり計画（令和4年度～7年度）では以下の文章から始まっています。

日本各地で、過疎化や高齢化、核家族化や個人の価値観の多様化などによって、地域を支える人材が不足し、住民同士のつながりが希薄になってきている例が見られます。これにより、地域コミュニティの機能が弱まり、地域によっては次のような様々な問題が顕在化しています。

- ・ 高齢化・独居化による孤独死の増加
- ・ 地域で守り育てる子育て機能の低下
- ・ 火災や地震等に対する地域防災機能の低下
- ・ 運転免許返納に伴う移動手段の喪失
- ・ 犯罪や事故に対する地域防犯機能の低下
- ・ 祭りや年中行事の継続困難による地域文化の衰退
- ・ 行政からの情報伝達など連絡調整機能の低下
- ・ 若年層の減少による地域産業の衰退



丸亀市内には17コミュニティがありますが、少子高齢化が進むにつれ、他地域で顕在化している問題が出てくる可能性があります。

5年前のまちづくり計画の書き出しは、他地域の問題点として取り上げていたものです。しかし、私たちの地域も次第に身近な問題となる可能性が高まりつつあります。

人口減少、少子高齢化は、今や全国的な問題となっていますが、香川県全体で毎年1万人近い人口が減り続けています。

多くの県で人口減少が進んでいるのに、東京都をはじめとする大都市圏では逆に人口が増加しています。少子化が進んでいても、転入が転出を上回る社会増が人口増につながっているのです。

香川県、丸亀市で人口減少が進む現状にあって、わたしたちの岡田地区の状況はどうでしょうか。

第3期まちづくり計画策定時（令和3年3月）の岡田地区人口は約4,200人でしたが、現在は約3,900人に減少しています。1年間に約60人ずつ減少している状態です。

一方、岡田地区内で1年間に生まれる子どもの数は、20人ほどです。

今後も同じ割合で減少していくとは限りませんが、岡田地区の人口の自然減は誰の目にも明らかです。



また、高齢化も進んでいるのが現状です。丸亀市全体の高齢化率は令和6年度に29%あまりですが、岡田地区は35%を上回っています。

日本各地の山間部や離島では限界集落と呼ばれる高齢化率50%を超える地域が生まれています。岡田地区全体ではまだそこまでは至っていないものの、自治会単位でみると限界集落化しているところもあります。

人口の自然減の状態、若者の大都市部への流出が高齢化率上昇に拍車をかけています。限界集落になると地域の共同体が機能しなくなってしまう可能性が高まります。

人口減少は、わたしたち住民団体の力だけではどうにもならない問題です。県や市が様々な施策をとっていますが、人口減少のスピードを遅らせることはできても減少を食い止めることは困難な状況です。

人口減少時代にあって、これまで同様のコミュニティ活動は維持できなくなってくることが考えられます。行政と協力を深めながら、できる限り現状を維持して人口減少のスピードを遅らせるための取り組みを進めていくことが必要だと考えます。

そこで、第4期まちづくり計画では、これまでの事業を見直し、『いかにして現状を維持していくか』を基本とします。

丸亀市全体よりも一歩先に高齢化が進んでいる岡田地区は、丸亀市の縮図です。わたしたちの力だけでは困難な課題も、これまで以上に丸亀市や岡田地区内外の団体と協力を深めて課題解決につなげていきたいと考えます。





綾歌三山

丸亀の南側にそびえたつ城山・猫山と、綾川町にまたがる大高見峰が連なっているため、綾歌三山と呼ばれています。四季折々の豊かな自然と風景を楽しめ、数々の動植物とふれあえます。

城山には、戦国時代に長尾氏の居城だった西長尾城跡があります。また城山の頂上からは瀬戸内海、丸亀平野、讃岐富士などを一望できる絶景パノラマが広がります。
(丸亀市ホームページより抜粋)



岡田コミュニティセンター上空約100mから見た丸亀平野



第3期まちづくり計画の 事業評価

第3期まちづくり計画では、
以下の5つの目標掲げて
各種の事業を行ってきました。

- ①心豊かな子どもが育つまち
- ②安心して暮らせるまち
- ③活力みなぎるまち
- ④健康に暮らせるまち
- ⑤みんなでつくるまち



第3期まちづくり計画の事業評価

第3期まちづくり計画では、以下の5つの目標を掲げて各種の事業を行ってきました。

- ①心豊かな子どもが育つまち
- ②安心して暮らせるまち
- ③活力みなぎるまち
- ④健康に暮らせるまち
- ⑤みんなでつくるまち



1 心豊かな子どもが育つまち

丸亀市は、地域全体でこどもの成長を支える体制を整えるため、コミュニティスクールの制度を市内全域に導入しています。

岡田コミュニティでは、この制度を導入する前からあいさつ運動やこども安全パトロール、自然体験交流などを通じて、大人になって地域を支えることになるこどもの成長を見守る体制をつくってきました。

第3期まちづくり計画では、第2期まちづくり計画から引き続いて子育て支援事業、保育所・こども園・小学校とのふれあい交流事業を実施してきました。

市内のコミュニティの中には「地域学校協働本部」というコミュニティとは別の組織をつくり、学校や保育所・こども園（以下学校等）と地域との連絡調整役を担っているところがありますが、岡田コミュニティでは、こども未来部が学校等と連携を密にして地域学校協働本部の役割を担っています。

学校等の支援事業では、小学校新入生の生活支援をはじめ、各教科学習支援を行っています。保育所やこども園でも、一緒に花を植えるなどの交流も行っています。さらには、校庭の環境整備にも関わり、保護者とともに地域の学校等を支える重要な役割を担うようになっています。

子育てについて考え直すきっかけとなることを願って、小学校の学習参観の日を利用して「家庭教育学級」を開催してきました。子育てや家庭教育について問題意識の高い方であっても、仕事の都合等で参加時間を確保できない場合も多くなっています。リアルタイム以外でダイジェスト配信をするなどの工夫が必要だと思われます。



約10年にわたって続けてきた夏休みこども教室は、岡田小学校児童の約3分の1が参加する人気のある事業になりました。コミュニティの各部が連携をとって長期休業中の居場所づくり、学校外の体験学習の場として企画運営をしています。ニーズが高い事業ですので、他団体や外部講師との連携で今後も続けていくことが望ましい事業であると思われます。

2 安心して暮らせるまち



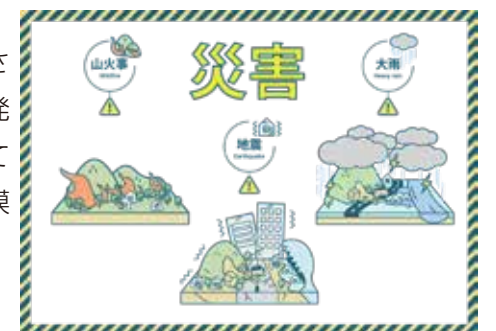
第3期まちづくり計画では、防災活動を中心にした事業を実施してきました。

自主防災会では、規模の大きな地震や大雨などの災害発生に備えて岡田地区内の防災マップを改定して地区内の各戸に配布するとともに、公共施設、スーパーをはじめ、自治会集会場にも配布して多くの目にとまりやすいようにしました。

自治会単位で地区防災員という自主防災活動推進を担う方を選出いただくようにしました。地区防災員さんには、岡田地区全体で実施する防災訓練にも参加していただいています。

岡田コミュニティでは、万が一、避難所を運営しなければならないような事態が発生した場合に備えて、丸亀市と協力しながら、水や食料の備蓄、避難所環境を向上させるための備品の整備に取り組んでいます。

規模の大きな地震は近い将来必ず発生すると予想されています。また、日本のあちこちで線状降水帯が発生して大雨を降らせて災害が起きるようになってきています。昔から災害発生が少ない香川県でも、大規模災害が発生する可能性があります。



どのコミュニティでも、大規模災害が発生した後は想定した訓練を中心に実施してきましたが、5年後、10年後に同じパワーで訓練に参加できるかと問われれば、時間の経過とともに困難さが増していくことは予想されます。

今後ますます高齢化が進む岡田地区。自主防災活動においても新たな担い手確保が困難になってきている現状から考えると、大規模災害発生時にはこれまでと同じパワーでは望めないという認識をもつ必要があります。



消防、警察は、働き盛りのスタッフが緊急時の行動について日々訓練を受けています。また、市役所等の行政機関と緊急時の情報伝達訓練も定期的の実施しています。常に訓練を受け、指揮命令系統がはっきりした職業として従事する消防や警察と同じような活動は私たち自主防災会ではできません。



今後は、自らの命は自ら守るという意識を高める啓発活動、各自治会での見守り活動に活動をシフトせざるを得ません。
また、大規模災害発生時に、自主防災会のスタッフが避難所となる小学校やコミュニティセンターに参集できずに、十分に力を発揮できないことを想定しておく必要があります。
避難所運営に関しては、①少ないスタッフと ②その場に
いる誰でもが運営できる仕組みを整えていくことが重要であると考えています。

児童の下校時に校区内を、青色回転灯をつけた安全パトロール車で巡視する活動は約 60 名のボランティアによって支えられています。犯罪抑止、交通安全啓発のため、これからも続けていくことが望まれます。

3 活きみなぎるまち

コロナ禍の間ストップしていた「だれでもカフェ」は、運営スタッフの負担を考えて週 1 回開催から月 1 回の開催になりましたが、毎月多くの方が交流の場として利用しています。

にぎわいづくり、交流の場のひとつとして夏まつり（おかだ kira² 夏まつり）は、第 2 期まちづくり計画時から引き続き開催してきました。
令和 6 年までは、毎年 8 月 11 日に開催日を固定して開催し、毎回 1500 名を超える来場者を迎えるイベントに成長しました。



温暖化に伴い、8 月には連日 35 度を超える暑さの日が当たり前となり、令和 7 年度にはスタッフの健康を考えて開催日を 9 月に変更し、名称も『おかだキラキラナイト』とすることにしました。



開催日を後ろ倒ししたとともに、岡田中央ふれあい通りを使って商工会青年部が主催する「お月見バル」と「おかだキラキラナイト」の同時開催を企画しました。

ふれあい通りは大人向けの『バル』、コミュニティセンターは子ども向けのイベント会場として開催したところ、おかだ kira² 夏まつり以上の人出で賑わいました。
商工会青年部や小学校 PTA、さらには小学生もまつりのスタッフに加わり、ともに地域を盛りあげる取り組みになりました。

幅広い年齢層が集まり、地域に賑わいをもたらすイベントは今後も続けていくべきと考えます。ただし、まつりのような大きなイベントの開催時期や内容については、運営するボランティアスタッフの負担の大きさを十分考慮する必要があると考えます。できる限り幅広い年齢層から運営スタッフを集められるよう、コミュニティの関係団体や学校等と連携を密にしていかなければなりません。

第 2 期まちづくり計画では開催できていなかった「おかだマルシェ」は、「おかだコミュニティまつり」や「岡田久次郎まつり」の第 2 会場として「岡田ふれあい広場」を会場に開催したところ、毎回多くの方が来場するイベントとなっています。

人を呼び、賑わいをつくるきっかけとしてのマルシェと考えたとき、規模を小さくして回数を増やすことも考えられます。

この場合も、運営スタッフの負担軽減を念頭において持続できる取り組みを構想していく必要性があります。

これまで続けてきたアナログのコミュニティだよりだけではなく、LINE 公式アカウントや Facebook というデジタルの情報発信を積極的に行ってきました。

LINE 公式アカウントには、令和 8 年 3 月現在、岡田地区内外から約 550 名のお友だち登録があります。タイムリーな情報発信手段として、デジタルの情報発信は今後も強化していかなければなりません。



歴史文化を知る「ふるさと探訪」も第 2 期まちづくり計画から引き続き実施してきました。点から点に車で移動することが多い私たちにとって、線になるような徒歩での探訪は新たな発見が期待できます。今後、探訪のあしあとをデジタルアーカイブ*として整備していくことで地域の魅力向上に役立てることができると考えられます。



デジタルアーカイブ…重要文書や文化資源の情報を長期保存することを目的としてデジタル化すること

4 健康に暮らせるまち

第3期まちづくり計画では、第2期まちづくり計画から引き続いて、健康づくりに関する事業を行ってきました。

日々笑顔で生活できるのは心身が健康な証です。岡田コミュニティは、住民の健康増進を図るため、体を動かす機会の提供、場の提供をしています。

丸亀市役所健康課や地域包括支援センターとも連携した事業も実施してきました。



建物規模の大きい岡田コミュニティセンター内には、小さな学校の体育館ほどの広さの集会室があります。そこにニュースポーツである室内ペタングのコートを4面つくり、室内ペタングを地区内に推奨しています。手軽に楽しめるスポーツということで、ペタングを楽しむ会という生涯学習クラブもでき、毎週大勢の方が参加して健康づくりに役立てています。

岡田コミュニティでは、「おかだの健康教室」を開催して『からだの健康と心の健康』に関する事業を行っています。また、医師会や病院がコミュニティセンターを使って開催する健康に関する講演会等も、コミュニティが積極的に広報して健康維持・増進に関する関心を高めるようにしてきました。

高齢化が進む状況を考えると、介護予防や認知症予防に向けた取り組みも重要です。毎月第1木曜日に丸亀市地域包括支援センターが実施する「介護予防のための体操教室」には、毎回多くの方が参加するようになっていますが、地区内の高齢者の数からするとごく一部です。より身近な自治会の集会場を活用して、健康づくりの取り組みを進めることも重要になってきます。

今後も地域包括支援センター等と連携を図りながら介護予防や認知症に関する啓発活動を積極的に進め、高齢になっても生き生きしている人が多い地区をつくっていく取り組みを進めるべきです。



5 みんなでつくるまち

第3期まちづくり計画では、それぞれの興味・関心に応じて学び続ける機会や個々の力を地域に生かせる機会を設けるなどして、住民一人一人が生きがいをもって暮らすことができるまちをめざしてきました。

すでにある生涯学習クラブを広く住民に紹介するために、毎年「暮らし生き生き生涯学習」の冊子を作成して岡田地区全域に配布してきました。また、新たに生涯学習クラブを立ち上げる前に、3か月間コミュニティセンターの使用料を免除して発足のための敷居を低くする支援を行いました。このような振興策は今後も続けていくべきと考えます。

岡田コミュニティセンターを利用する生涯学習クラブに「幼児のかきかた教室」「幼児のリトミック」「運動クラブ」があります。これらのクラブはこども向けの生涯学習クラブです。こども向けの生涯学習クラブがあることで、その保護者である若い世代がコミュニティセンターを訪れることにつながります。

若い世代にコミュニティに関心をもってもらえる機会のひとつと考えていきたいです。



若い世代は、将来の地域づくりの担い手です。今後も保護者の世代だけではなく、小中学生の段階からボランティアを経験できるような場を設けていくことが大切だと考えます。

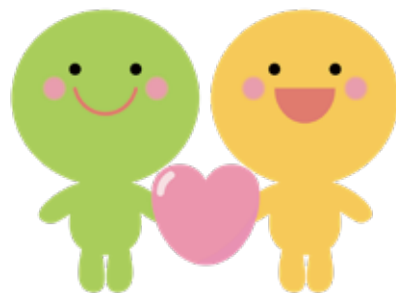


岡田コミュニティのこれまでの取り組みは、岡田地区内外から高い評価を受けています。これは、事業に関わる多くのボランティアスタッフの献身的な取り組みによるものです。

今後の取り組みを考えるにあたっては運営スタッフの高齢化を前提として、5年後、10年後を見据えた計画でなければなりません。と同時に、機会をとらえて若い世代に常にコミュニティに関心を持ち続けてもらえるようにしていくべきです。



これからも他人を思いやる一人一人の小さな力の積み重ねが地域を支え、自分にかえってくるということを啓発し続けていきたいです。



これからのまちづくり

よりよい生活が送れるように、ハードとソフトの両面から改善を図ろうとする工程全体が『まちづくり』です。

私たち地域住民と行政が協働して、まちづくりを進めることが、生活環境向上につながり、住みやすい岡田地区につながると考えます。



これからのまちづくり

1 住み続けたいまち おかだ

第1期から第3期までのまちづくり計画では、この地に生まれ育った人も他の地域から移り住んできた人も、皆が住んでいてよかったと思えるように、一貫して『住み続けたいまち おかだ』を、めざすまちの姿として各種事業に取り組んできました。



この間、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会生活のあり様が大きく変化しました。賑わいをもたらすようなイベントができずに、地域から活気が失われていく時期がありました。

そこで、困難な社会状況であっても地域に明るさを持ち続けてもらいたいという願いを含めて、岡田ふれあい広場にイルミネーション装飾を施しました。国道に隣接している公園のイルミネーション装飾は信号待ちをしている車からよく見え、岡田地区内外から多くの来場者が訪れるようになりました。

暑い時期、寒い時期に広い公園をLEDで装飾したり、片付けたりするのは大変な作業です。しかし、結果として新聞やフリーペーパーにも取り上げられるようになるなど、「おかだ」をアピールすることにもつながっています。

「自分の住む岡田はいいところだ」と感じる人が増えていくことが、岡田地区の発展につながると考えます。

変化の大きな時代であり、少子高齢化が進行する地域であるからこそ、人と人とのつながりを大切にして、みんなで支え合って生活できる「おかだ」をつくっていくべきです。



そこで、これからも『住み続けたいまち おかだ』をめざすまちの姿として引継ぎ、支え合いのできるまちづくりを進めます。



2 まちづくりの目標

よりよい生活が送れるように、ハードとソフトの両面から改善を図ろうとする工程全体が『まちづくり』です。これまで同様に、私たち地域住民と行政が協働することで、まちづくりを前進させたいと考えます。

双方の力を生かしたまちづくりを進めることが、生活環境向上につながり、住みやすい岡田地区につながると考えられるからです。



そこで、丸亀市の均衡ある発展のための『総合計画』『協働推進計画』『地域福祉計画』『生涯学習推進計画』等に取り上げられている計画とリンクさせた目標を設定します。

岡田コミュニティのまちづくりの目標

I 心豊かな子どもが育つまち

地域全体で子どもを見守り育てる事業を通して、心豊かな子どもが育つまちをめざします



II 安心して暮らせるまち

防災や防犯意識を高める啓発事業、災害に備える事業を通して、安心して暮らせるまちをめざします



III 活力みなぎるまち

地域のにぎわい・交流の場づくり事業、ふるさと再発見事業を通して、活力のある元気なまちをめざします



IV 健やかな笑顔ひろがるまち

心とからだの健康づくり事業、生活支援事業、生涯学習推進事業を通して、住民一人一人が、生き生きと暮らしていけるまちをめざします



V みんなでつくるまち

積極的な情報発信事業、他団体との協働事業を通して、幅広い年齢層がコミュニティ活動に関心をもち、参加しようとするまちをめざします



3 部の協力体制 現在の状態を維持する方策を探る



第3期まちづくり計画策定時に、それまでの事業内容の見直しを行い、7つの部がコミュニティの各事業を分担して実施していくようにしました。第4期まちづくり計画でも現行の部の構成を引き継ぎます。

ただし、令和8年度中に、これまでの事業内容を ①現在の部単独で実施できる事業 ②規模を縮小あるいは休止すべき事業 ③他の部との協働なら実施できる事業 にわけて、令和9年度以降の事業について、個々の負担を軽減しながら現在の状態を少しでも長く維持できるようにする方策を探ることとします。

文化広報部

地域文化振興・生涯学習推進・広報

地域福祉部

地域福祉・介護予防

生活環境部

地域環境向上・緑化推進

生活安全部

防災・防犯・交通安全

健康増進部

心と身体の健康づくり・生涯スポーツ

地域交流部

地域交流・世代間交流

こども未来部

青少年健全育成
保育所・こども園・小学校との連携

まちづくり委員会

人権啓発
各部横断的な事業全般



4 計画事業

第4期まちづくり計画は、これまで同様に今後5年間の事業活動の元になる大綱的な計画として策定します。各年度の事業評価をもとに翌年度の事業内容を決定、実施することとします。

心豊かな子どもが育つまち



地域全体で子どもを見守り育てる事業を通して、心豊かな子どもが育つまちをめざします

保育所・こども園・小学校とのふれあい交流事業

花づくりや自然体験、昔遊びなどの交流を進めます

たとえば、子どもと一緒に花を植える活動、昔の遊び など

【想定される関係部署】生活環境部、地域交流部、こども未来部、保育所、こども園、小学校 市役所など

学校外活動支援事業

他団体と協力して、夏休み子ども教室などの学校外体験活動を提供します

たとえば、科学体験教室、工作教室、天体観測など体験重視の教室 など

【想定される関係部署】まちづくり委員会、文化・広報部、岡田愛育班、綾歌三山愛好会、小学校、市役所 など

学校教育支援事業

地域と学校が力を合わせて子どもを育てるための学校支援活動を行います

たとえば、学校運営協議会へ地域の意見を届けるとともに、学校支援ボランティアによる学校等支援

【想定される関係部署】こども未来部、地域交流部、まちづくり委員会、小学校、市役所など



II 安心して暮らせるまち

防災や防犯意識を高める啓発活動を行うとともに、
災害に備える活動を行い、安心して暮らせるまち
をめざします

自主防災事業

地震や大雨等の自然災害に対応するシステムづくりを進めます

たとえば、その場にいる人が避難所運営に参加できるシステムづくり、防災用品備蓄 など

【想定される関係部署】岡田地区自主防災会、まちづくり委員会、警察署、消防署、
市役所 など



交通安全・事故防止に関する事業

行政・警察と協力して、犯罪や交通事故を防止する取り組みを進めます

たとえば、特殊詐欺防止のための防犯教室、交通安全教室、子ども安全パトロール、
地区内安全点検 など

【想定される関係部署】生活安全部、警察署、防犯協会、交通安全協会、市役所 など

III 活力みなぎるまち

地域のにぎわい・交流の場づくり事業、ふるさと
再発見事業を通して、住民一人一人が生き生きと
暮らしていけるまちをめざします

交流の場づくり事業

関係団体と協力しながらイベントを開催して交流の場をつくり、地域のにぎわいにつなげます

たとえば、おかだコミュニティまつり、おかだkira²ナイト、おかだマルシェ、演奏会 など

【想定される関係部署】まちづくり委員会、地域交流部、岡田大好き隊、商工会、JA など



ふるさと再発見事業

岡田地区の地理や歴史、現状を知って、ふるさとに対する愛着
がもてる取り組みを進めます

たとえば、ふるさと探訪、空き家マップ作製、古民家探訪など

【想定される関係部署】文化・広報部、地域交流部、
古民家再生協会、市役所など



IV 健やかな笑顔ひろがるまち



心とからだの健康づくり事業、生活支援事業、
生涯学習推進事業を通して、住民一人一人が
生き生きと暮らしていけるまちをめざします

健康づくり事業

幅広い年齢層が楽しめるニュースポーツや健康体操を広めるとともに、心と体の健康維持増進
を図る取り組みを進めます

たとえば、おかだの健康教室、世代間交流スポーツ大会、落語等のお笑い、健康ウォークなど

【想定される関連部署】健康増進部、地域交流部、食生活改善推進協議会、生活研究グループ、
スポーツ推進委員連絡協議会、スポーツ協会、市役所 など

生活環境改善事業

季節の花壇づくりや、緑のカーテン普及の緑化活動、一斉清掃、土器川清掃で生活環境向上の
ための取り組みを進めます

たとえば、緑のカーテン普及などの地域の緑化推進、岡田ふれあい広場維持管理、コミュニティ
センター緑化

【想定される関連部署】生活環境部、まちづくり委員会、環境保全公社、
市役所、国土交通省



高齢者等支援事業

福祉関係者や自治会と連携して高齢者等へ声かけや見守りをして、みんなが住み慣れた場所で暮らしやすいと感じる取り組みを進めます

たとえば、生き生きサロン活動支援、移動サービスおでかけ便、福祉関係者研修会、介護予防講座など

【想定される関連部署】地域福祉部、まちづくり委員会、市役所、社会福祉協議会、フードバンクおかだ



生涯学習推進事業

生涯学習講座を開設したり、生涯学習クラブの紹介をしたりして、学び続けることの楽しさを感じられるような取り組みを進めます

たとえば、「暮らし生き生き生涯学習」冊子製作、地域の人材発掘 など

【想定される関係部署】文化・広報部、地域交流部、まちづくり委員会、市役所

V みんなでつくるまち

積極的な情報発信事業、他団体との協働事業を通して、幅広い年齢層がコミュニティ活動に関心を持ち、参加しようとするまちをめざします



地区内情報の発信事業

地域の課題やコミュニティの活動内容を広く情報発信します

たとえば、コミュニティだより、ホームページ、LINE 公式アカウント、Facebook など

【想定される関係部署】文化・広報部、まちづくり委員会、綾歌交番、市役所 など



ホームページ



LINE 公式アカウント



Facebook



地域ボランティア育成事業

関係団体や連合自治会とともに地域活動の担い手を確保する取り組みを進めます

たとえば、イベント協力ボランティア、学校支援ボランティア、緑化推進ボランティア など

【想定される関係部署】まちづくり委員会、連合自治会、社会福祉協議会、市役所

岡田地区の自治会加入率は、令和 8 年 3 月現在で約 72%です。丸亀市全体の自治会加入率が約 45%なので、市全体の平均よりはかなり高いです。

近年新しくできた団地では自治会を組織できていないところもありますが、自治会のある多くの地区は昔からずっと続く組織であるため、順番で世話役がまわってくるというわずらわしさを感じながらも、若い世代にもそれなりに受け入れができています。

しかし、高齢になって順番でまわってくる世話役の役目をはたせないで自治会から脱退したいというような声があがる地区が出てきています。

「高齢になって自治会の世話ができなくてもいいよ。できる人がやっていくから」と言いあえるような自治会であるような働きかけを続けていく必要があります。

自分のもっている力を少しだけ他の人のために役立てる、みんながそういう気持ちをもって生活していけば持続可能な組織となり、持続可能な地域となっていくはずです。

みんなで知恵を出し合い、力を合わせてよりよい岡田地区をつくっていきましょう。





資料編



岡田地区の概要



位置と現状

岡田地区は香川県のほぼ中央に位置し、地形は南に高く、北に緩やかに傾斜した台地状になっており、比高差 10 ～ 15 メートルで丸亀平野に接しています。

東には讃岐七富士のひとつ堤山があり、西は西山と 1 級河川である土器川が隣町と境しています。

また、南は綾歌三山（城山、猫山、大高見峰）が連なり、北には飯野山（讃岐富士）を望むことができます。

気候は温暖で災害も少なく、自然環境や自然条件に恵まれた地域です。また、南部山地を除く平坦部には農地が広がり、ほぼ全域が農業振興地域に指定された農村地帯です。台地上を流れる小河川は随時せき止められ、そこには多くのため池が築かれています。

地区内には平成 22 年 11 月に全線 4 車線化された国道 32 号線があります。また、平成 27 年 3 月に国道 438 号線岡田バイパスが供用を開始しました。「ことでん（高松琴平電気で電気鉄道株式会社）」とともに県内の主要都市とは比較的短時間で行き来できる環境にあります。

歴史

地区内は古くから人々の生活の場として開け、各所から住居跡、土器片などの遺物が出土しており、その起源は旧石器時代にまでさかのぼることができます。

平安から室町時代にかけては「井上郷」に属し、戦国時代には「岡田里」、江戸時代のはじめは「岡田郷」と表記されて一つのまとまった地域となっていました。

「井上郷」を連想する「井ノ岡」、「岡田」を冠した「岡田神社」「岡田廃寺」「岡田万塚」、廃寺跡を伝える「徳善寺」「蓮光寺」「岡田廃寺」「成願寺」、開発領主名を思わせる「俊正」「重永」「重光」「森俊」などの地名は、いずれも岡田上から岡田西にかけての大束川本流域に広がっており、この地の開発が西部から進んだことを示しています。

江戸時代に入って「岡田郷」は生駒氏の領地から 1642 年高松藩領となり、岡田上、岡田下、岡田東、岡田西、の 4 か村に分村して統治が行われ、明治維新を迎えることとなります。明治 22 年には、更にこの 4 か村が合併し、岡田村となりました。

昭和 34 年 4 月 1 日には、隣村の久万玉村と合併して綾歌町となり、この綾歌町も平成 17 年 3 月 22 日に丸亀市、飯山町、と合併して新しい丸亀市の一部となり、現在に至っています。



公共施設

地区内には、岡田コミュニティセンター、岡田小学校、あやうたこども園、岡田保育所、桜谷聖苑、綾歌森林公園多目的管理棟があります。

また、岡田ふれあい広場、鴻ノ池公園、打越やすらぎ公園、綾歌森林公園、綾歌総合運動公園、綾歌土器川公園があります。

岡田ふれあい広場は、岡田幼稚園跡地公園として令和元年に整備され、公募で名称が決まりました。



神社・仏閣

- 岡田上 … 池之宮神社、美古神社、皇子神社、八坂神社、枚岳（ひらおか）神社、室塚神社、水分（みくまり）神社、片山神社、延命寺、法城寺
- 岡田下 … 宇閑（うべ、うえ）神社、恵美須神社、慈光寺、西覚寺
- 岡田東 … 椎尾神社、下土居神社、
- 岡田西 … 岡田神社、棕（むくのき）神社、皇子神社、光照寺 等があります。

詳細は、岡田コミュニティホームページ【久次郎さんのおかだまちあるき】をご覧ください。



<https://main-okada-community.ssl-lolipop.jp/machiaruki/index.html>



古代の遺跡

岡田台地上には、古墳時代の各時期に多くの古墳が築かれており、現在もそのいくつかが残っています。

古くは、南部山林に弥生時代に築かれた墳丘墓があることから、他地域と比較しても古くから権力者により治められた先進的な地域であったと考えられています。

古墳時代に築かれたものとしては、岡田西の新池西側に、巨大な前方後円墳である【車塚】があります。これは、古墳時代前期（4世紀頃）に築かれたもので、当時、付近に巨大な勢力があったことがうかがえます。

古墳時代中期には、新池の周辺に中小円墳が数多く築かれており、その数は100基近くであったようで、岡田万塚と称されています。

古墳時代後期には、横穴式石室を持つ古墳が築かれるようになり、岡田上の西打越、津森に平石古墳群や津森穴薬師古墳などがあります。また、岡田東の仁池西の北原付近に北原古墳などが確認されています。



車塚



平石3号墳玄室



津森穴薬師古墳玄室

丸亀市指定遺跡

岡田地域の南部は城山（しろやま）がそびえ、丸亀平野の南の端にあたります。

城山は標高375.1m。山頂からは丸亀平野、瀬戸内海、岡山県、愛媛県、屋島、満濃地域などを眺望することができます。

この絶好の立地を活かし、中世城郭である西長尾城が築かれました。西長尾城は1368年～1579年に長尾大隅守一族、以降1585年まで国吉甚左衛門が城主を務めました。

山中には、連郭式曲輪列や空堀など多くの遺構が残されています。西長尾城は、国吉城、長尾城とも称されています。

西長尾城跡は、丸亀市指定遺跡となっています。（平成16年9月27日指定）



西長尾城跡連郭式曲輪列



西長尾城跡堀切



無形文化財

温暖な気候に恵まれた岡田は、降水に恵まれず、日照りにより耕作地を潤す水の確保に苦労を強いられてきました。

寛永3年（1626年）の大飢饉や農民の水争いを目の当たりにした大庄屋・岡田久次郎は、水田の少ない岡田に水を引く計画を立て、炭所に適所を見つけると巨額の私財を投じて岡田の荒地に水を引き、米のとれる土地にしようと決意、2年の歳月をかけて亀越池を築造（1633年9月完成）し、岡田の地を潤しました。

岡田おどりは、久次郎の遺徳を偲んで踊ったのがその始まりといわれ、戦前まで「岡田盆楽会」として伝承されてきました。その後一時中断しましたが、戦後に復活。「岡田おどり保存会」により継承され、小学校の運動会や岡田久次郎まつりでも踊られています。

毎年、久次郎の業績を称え亀越池土地改良区と地元俊正地区の人たちの有志によって法会が行われ、その功績を語り継いでいます。

岡田おどりは、市指定無形民俗文化財に指定されています。（昭和47年11月1日指定）

久次郎さんとして岡田地区内外から親しまれているゆるキャラは、岡田久次郎にちなんだものです。



ため池



香川県は、降水量が少なく河川が短くて急こう配であるため、農作物の生産には、ため池はなくてはならない存在でした。岡田地区内でも、名前のあるため池は約80か所あります。

香川県は全国でもため池の密度がもっとも高く、近年の調査では、約12,000か所のため池があります。一箇所当りの平均貯水量は、1万1千トン余ですが、これは満濃池や内場池などの巨大なため池の存在が大きく影響しており、実態は、1千トン未満の小規模なため池が約6,600か所と全体の約5割を占めています。

香川県は、降水量が少なく河川が短くて急こう配である



岡田のため池一覧（貯水量ベスト20）

番号	池名	所在地		貯水量（千㎡）	かんがい面積（ha）
0	亀越池	まんのう町長炭		958.0	543.0
①	小津森池	東	小津森	545.0	145.0
②	打越下池	上	西打越	249.0	230.0
③	打越上池	上	西打越	194.0	230.0
④	為久池	東	上新開	82.5	26.0
⑤	西池	上	平塚	48.5	47.0
⑥	皿池	上	重永	47.5	21.0
⑦	今滝池	上	今滝	44.0	36.0
⑧	成願寺池	西	重光	40.0	19.0
⑨	猫谷池	上	津森	32.0	15.0
⑩	天神池	上	市地	30.0	30.0
⑪	宮池	上	池の内	28.8	19.0
⑫	札谷池	上	津森	28.1	10.0
⑬	射場池	上	射場	22.2	4.5
⑭	北原池	東	上新開	22.0	16.0
⑮	源田池	西	森俊	17.8	11.0
⑯	河内谷中池	上	国吉	12.0	4.0
⑰	宮池下池	上	平尾	11.5	6.5
⑱	菰池	上	西射場	11.1	1.6
⑲	奥泉下池	下	天神甲	10.8	40.0
⑳	椎尾池	東	椎尾	9.6	16.0

注：亀越池はまんのう町にあります。 讃岐のため池誌（平成11年調査）参照

⑩の天神池は、地元では環池（まわりいけ）と呼ばれている。

年中行事

古くから伝えられてきた行事、新しく定着してきている行事

正月の行事

春の行事

夏の行事

秋の行事

冬の行事

・氏神参拝・成人式・出初め式・書き初め・鏡開き・とんど焼き

・節分・雛祭り・端午の節句・社日・神社春市・百々手・
・おかだコミュニティまつり・小学校運動会・岡田久次郎まつり

・用水浚え・池のユル抜き・七夕祭り・灯籠流し

・敬老会・秋の大祭・馬節句・岡田久次郎法会・池之宮神社祈願祭・社日

・消防夜警・餅つき・冬至・除夜の鐘・お日待ち

<注>

とんど焼き 正月飾りやしめ縄、古いお札などを燃やす正月行事。
この火でもちを焼いて食べると一年中健康でいられる。



百々手 春を告げる神社の伝統行事。百本を超える矢を放ち、五穀豊穡、厄除け等を祈願する。

池之宮神社祈願祭 祭神は高麗神（たかおかみ）・天水分神だが岡田久次郎・木村甚三郎二氏の霊を合祀し、その遺徳を偲んで祈願している。（秋分の日）

お日待ち 旧暦1・5・9月の15日に神社（荒神さん）に集まり、神の傍で夜を明かして日の出を待ち拝む。生活のほとんどが自然の力に委ねられていた時代、太陽を「お日様」と呼び、その恵みに感謝した。



おかだの歴史年表

西 暦	年 号	郷土（おかだ）の出来事
1633 年	寛永 10 年	岡田久次郎亀越池を築く
1672 年	寛文 12 年	矢延平六、小津森池を築く
1682 年	天和 2 年	矢延平六、滝鼻出水を完成させる
1829 年	文政 12 年	打越池完成（木村甚三郎）
1854 年	安 政 元 年	讃岐に大地震があり人家被害 3000 余戸
1867 年	慶応 3 年	ええじゃないかの騒ぎがおこる
1874 年	明治 7 年	赤坂・東岡・咲屋・宮北に小学校を設置
1876 年	明治 9 年	岡田郵便局設置（岡田東村）
1879 年	明治 12 年	赤坂・咲屋小学校を統合し環池学校を設立
1887 年	明治 20 年	環池・宮北・東岡小学校を統合し岡田小学校を設立
1889 年	明治 22 年	岡田上村・岡田下村・岡田東村・岡田西村が合併し、岡田村となる
1896 年	明治 29 年	警察岡田分署設置
1898 年	明治 31 年	美合・造田・長炭・岡田 4 か村組合設立 岡田高等小学校開設
1905 年	明治 38 年	組合立岡田高等小学校を廃止し岡田尋常高等小学校設立
1906 年	明治 39 年	岡田農業補習学校設立
1910 年	明治 43 年	岡田小学校 6 年制となる
1914 年	大正 3 年	綾歌郡立飯山農学校創立
1919 年	大正 8 年	岡田小学校校舎増築
1931 年	昭和 6 年	岡田農業補習学校を岡田国民学校と改称
1936 年	昭和 11 年	亀越池増築に着手（県営）
1941 年	昭和 16 年	国民学校令により小学校は国民学校となる
1945 年	昭和 20 年	高松空襲により県庁焼失の為、岡田国民学校に県庁舎を疎開
1946 年	昭和 21 年	南海大地震が発生する（12 月 21 日）
1947 年	昭和 22 年	国民学校は小学校となり、新制中学校発足
1948 年	昭和 23 年	農業協同組合、農業共済組合設立
1950 年	昭和 25 年	岡田幼稚園設置
1951 年	昭和 26 年	飯山高校岡田分校を岡田中学校に併置
1953 年	昭和 28 年	県営土器側右岸土地改良区設立
1954 年	昭和 29 年	岡田保育所設置
1956 年	昭和 31 年	岡田小学校で味噌汁給食開始。岡田小学校舎（3 階建て）着工
1957 年	昭和 32 年	岡田小学校、完全給食を実施
1958 年	昭和 33 年	岡田小学校竣工（1959 年落成記念祝賀会）
1959 年	昭和 34 年	久万玉村と岡田村が合併して綾歌町になる
1960 年	昭和 35 年	綾歌町商工会設立 有線放送開始
1963 年	昭和 38 年	岡田・久万玉中学校を統合し綾歌中学校となる

おかだの歴史年表

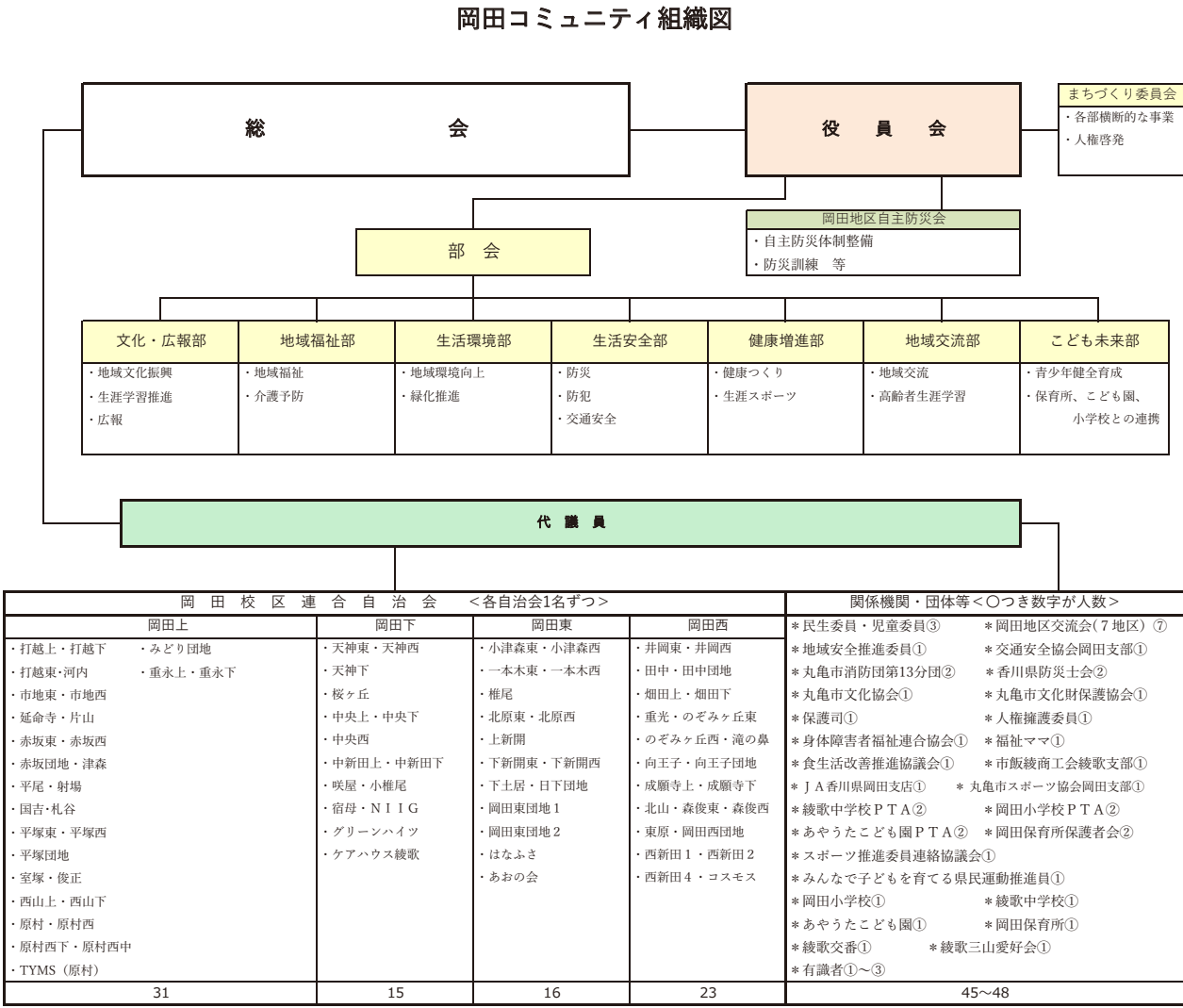
西暦	年 号	郷土（おかだ）の出来事
1964 年	昭和 39 年	飯綾葬祭組合設立
1965 年	昭和 40 年	綾歌町学校給食センター開設
1966 年	昭和 41 年	綾歌中学校舎完成
1967 年	昭和 42 年	岡田幼稚園園舎・プール完成
1969 年	昭和 44 年	高松・琴平間の県道が国道 32 号線となる
1972 年	昭和 47 年	綾歌町史編纂事業始まる
1973 年	昭和 48 年	飯綾消防組合設立 綾歌町章を公募により決定 岡田おどり保存会発足
1974 年	昭和 49 年	第 1 回綾歌まつり開催
1977 年	昭和 52 年	岡田小学校百年祭挙行
1978 年	昭和 53 年	綾歌町役場庁舎完成
1979 年	昭和 54 年	岡田保育所完成
1980 年	昭和 55 年	綾歌町の人口が 1 万人を突破
1982 年	昭和 57 年	第 1 回「ふるさとまつり」開催
1986 年	昭和 61 年	岡田小学校プール完成
1988 年	昭和 63 年	湯舟道完成
1991 年	平成 3 年	レオマワールド開園
1993 年	平成 5 年	東四国国体炬火リレーに小中生参加
1995 年	平成 7 年	中讃大規模農道が県道 278 号となる
1996 年	平成 8 年	総合文化会館「アイレックス」完成
1999 年	平成 11 年	桜谷聖苑完成
2001 年	平成 13 年	「おでかけバス」運行開始
2002 年	平成 14 年	「保健福祉センター」完成
2004 年	平成 16 年	「ニューレオマワールド」リニューアルオープン
2005 年	平成 17 年	新丸亀市発足「あやうた幼稚園創立」 岡田コミュニティ設立
2006 年	平成 18 年	岡田コミュニティセンター竣工
2008 年	平成 20 年	国道 32 号バイパス全線開通
2009 年	平成 21 年	「あやうた幼稚園」が「あやうたこども園」になる
2013 年	平成 25 年	岡田小学校新校舎落成
2015 年	平成 27 年	国道 438 号岡田バイパス供用開始
2016 年	平成 28 年	第 1 回おかだ kira ² 夏まつり開催
2019 年	令和 元 年	岡田幼稚園跡地公園整備完了 丸亀市高齢者等移動手段確保モデル事業に応募 10 月から「移動サービスおでかけ便」を運行開始
2020 年	令和 2 年	岡田幼稚園跡地公園の名称を公募により、【岡田ふれあい広場】に決定



おかだの歴史年表

西暦	年 号	郷土（おかだ）の出来事
2020 年	令和 2 年	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第 7 回岡田コミュニティまつり、第 5 回おかだ kira²夏まつりが中止となる
2022 年	令和 4 年	岡田ふれあい広場に、はじめて LED 装飾をする
2023 年	令和 5 年	新型コロナウイルス感染予防対策をしながら、第 8 回おかだコミュニティまつりを開催
2024 年	令和 6 年	丸亀警察署綾歌交番設置に伴い岡田駐在所が閉鎖され、岡田警察官連絡所となる
2025 年	令和 7 年	毎月第 1 火曜日に健康相談とあわせて福祉よろず相談を開始する
		第 9 回おかだコミュニティまつりを開催
		おかだ中央ふれあい通りを使って「お月見バル」開催（飯綾商工会青年部主催）
		「おかだ kira²夏まつり」から「おかだ kira²ナイト」に名称変更して同時開催
2026 年	令和 8 年	岡田小学校創立 150 周年記念誌を発行
		岡田警察官連絡所閉鎖（3 月 31 日）
		出生数の減少と施設老朽化が進む現状から、令和 10 年 4 月に「岡田保育所」と「あやうたこども園」の統合を丸亀市が公表
		第 10 回おかだコミュニティまつりを開催

岡田コミュニティの組織



おかだ未来会議 Okada Future Conference			
おかだ未来会議委員(第4期岡田コミュニティまちづくり計画策定委員) 50音順			
	氏名	所属及び職名	備考
1	岩崎 雅彦	岡田大好き隊 代表	岡田コミュニティ こども未来部 副部長
2	臼杵 實	岡田コミュニティ・岡田校区連合自治会 会長	
3	大林 浩司	岡田コミュニティ生活安全部 部長	
4	岡本 晃子	丸亀市立岡田保育所 所長	
5	香川 福恵	岡田コミュニティ 副会長	
6	加藤 正員	丸亀市議会 議員	有識者
7	鎌田 明美	丸亀市立岡田小学校 校長	岡田コミュニティ 理事
8	茅原 哲生	岡田校区連合自治会 副会長	
9	北山 正善	岡田コミュニティ文化・広報部 部長	
10	木村 奈美	市民活動家	有識者
11	近藤 千鶴	丸亀市立あやうたこども園 園長	
12	高尾 正文	岡田コミュニティ地域交流部 部長	
13	土屋 美紀	福祉ママ岡田地区 代表	岡田コミュニティ 地域福祉部 副部長
14	土居 正信	岡田コミュニティ 副会長	岡田コミュニティ こども未来部 部長
15	土岐 岳大	認定農業者	有識者
16	馬場 広貴	丸亀市スポーツ推進委員連絡協議会 委員	
17	細川 亜希子	丸亀市立あやうたこども園PTA 監査	
18	三宅 健介	丸亀市立岡田小学校PTA 副会長	飯綾商工会青年部 部長
19	宮武 浩一	岡田コミュニティ・岡田校区連合自治会 副会長	岡田コミュニティ 健康増進部 部長
20	宮武 直史	丸亀市立岡田保育所保護者会 副会長	
21	安川 俊夫	綾歌三山愛好会 会長	岡田コミュニティ 理事 打越池水利組合 組合長
22	横山 博恵	岡田コミュニティ生活環境部 部長	
23	吉川 和志	丸亀市スポーツ協会岡田支部 支部長	
24	渡辺 敏広	岡田コミュニティ地域福祉部 部長	民生委員・児童委員 地区 代表
オブザーバー			
	小西 裕幸	丸亀市地域担当職員(まちづくり担当)	綾歌市民総合センター
	石川 海渡	丸亀市地域担当職員(まちづくり担当)	丸亀市 税務課
	重野 遼	丸亀市地域担当職員(防災担当)	丸亀市議会事務局
	藤原 香菜	丸亀市地域担当職員(保健担当)	丸亀市 健康課
	高尾 光一	丸亀市社会福祉協議会地域担当職員	丸亀市社会福祉協議会 地域共生社会推進グループ
	土岐 正	丸亀市社会福祉協議会地域担当職員	丸亀市社会福祉協議会 地域共生社会推進グループ
おかだ未来会議事務局			
	引田 真人	岡田コミュニティセンター 所長	
	土方 実加	岡田コミュニティセンター 次長	
	松尾 綾	岡田コミュニティセンター 事務員	

所属及び職名は令和8年3月31日現在



住み続けたいまち おかだ

令和8年4月1日発行

編集 おかだ未来会議
(第4期まちづくり計画策定委員会)

発行 岡田コミュニティ

〒761-2402 香川県丸亀市綾歌町岡田下516-1
TEL/FAX(0877)86-3001

